

第117期

# 業務のご報告

2025年4月1日～2026年3月31日

The Choshi Shinkin Bank



理事長 **森山 博志**

平素の当金庫への変わらぬご愛顧とご支援に、心より厚くお礼申し上げます。

2025年度の日本経済は、緩やかな金融環境のもと、総じて緩やかな回復基調にあった一方で、各国の通商政策や地政学リスクなどの影響により、不確実性の高い状況が続きました。

また、当金庫の主なお取引先である中小企業等においては、原油価格の上昇や原材料価格の高止まり等のコスト増加や、継続的な賃金上昇により利益率の低下を招いている先が一部に見受けられるほか、慢性的な人手不足、事業承継対策、デジタル化の進展や気候変動問題への対応など、経営課題はますます多様化・複雑化している状況にあります。

このようななか、当金庫は、中期経営計画「Shinking 2030 セカンド」（2024年度～2026年度）において、「お客さまとの接点を増やす」「お客さまにより良い提案を行えるようにする」「全職員が幸せにいきいきと働けるようにする」を重点事項として施策に取り組むほか、これらの施策等の実効性を高めるべく、2025年4月に「業務変革推進室」を設置し、営業力および組織力の強化に努めております。

また、2020年に制定した「ちょうしんきんSDGs宣言」に基づき、「地域経済の持続的な発展」「豊かな地域社会の実現」「地域環境の保全」「ガバナンスの強化」に取り組むべき重点課題として、毎期、SDGs推進チームにより各施策の検証・見直しを実施し、金庫内外にSDGsを浸透させるための活動を行っております。

2026年度も先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、当金庫は、お客さまのニーズや課題解決にお応えするために、より一層の態勢整備に努め、地域金融機関として、お客さま・地域の持続的な発展に貢献してまいります。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月吉日

## 当金庫の概要

2026年3月末現在

### 創 業

1910年（明治43年）7月

### 出 資 金

9,828百万円

### 会 員 数

29,569名

### 本 店

千葉県銚子市双葉町5番地の5

### 店 舗 数

28店舗（千葉県内24店・茨城県内4店）

### 役 職 員 数

377名

### 預 金

5,086億円

### 貸 出 金

1,688億円

### 自己資本比率

12.88%



## 銚子信用金庫業務地区

**千葉県** 銚子市、旭市、匝瑳市、茂原市、勝浦市、千葉市、東金市、成田市、市原市、香取市、習志野市、八千代市、船橋市、木更津市、市川市、袖ヶ浦市、白井市、四街道市、佐倉市、八街市、鴨川市、印西市、富里市、いすみ市、山武市、大網白里市、山武郡、長生郡、夷隅郡、香取郡、印旛郡

**茨城県** 神栖市、鹿嶋市、潮来市、行方市、鉾田市

## 経営理念

地域の最良のパートナーとして、常に地域と共に歩む。

柔軟で創造性の高い組織力を発揮し、地域金融機関としての使命を全うする。

秀れた人材を育成し、豊かで活力あふれる未来を創造する。

## ビジョン

地域のニーズに応え、最良のサービスを迅速に提供する。

地域社会の豊かな発展を実現するトータルアドバイザーとして信頼度No.1を目指す。

揺るぎない経営基盤を確立し、信用金庫としての社会的使命を遂行する。

環境の変化に応じて自己革新できる柔軟な組織を目指す。

将来を見据えた人事政策、能力主義人事の徹底により秀れた職員を育成する。

自由闊達で想像力と活力にあふれた働きがいのある信用金庫を目指す。

## 行動指針

私たちは地域社会の一員として誇りをもって行動します。

私たちは積極かつ迅速に行動します。

私たちは何事にも信念をもって行動します。

私たちは明るい笑顔、感謝の心をもって行動します。

私たちはより高い目標に向かって行動します。

## 経営方針

2024年4月にスタートさせた新三か年計画「Shinking2030 セカンド」では、前三か年計画「Shinking2030」を踏襲し、新たに見直した3つの具体的な重点事項を掲げて、トライアル&ランを繰り返しながら、目指す姿に近づいていくこととしています。

“ちょうししんきんならではの”の活動をとことん追求し、お客さま・地域の課題解決に貢献しながら、地域との持続的な発展を目指してまいります。

## Shinking 2030 セカンド

### 目指す姿

課題解決サポート体制を“ちょうししんきんならではの”の課題解決プラットフォームへと進化させ、最も身近な「ファーストアドバイザー」として、お客さま・地域の課題解決に貢献し、圧倒的な信頼を獲得する。

どのような状況にあっても前向きにトライアル&ランを繰り返し、智恵を集め共有しながら、絶えず柔軟に変化し続ける創造性の高い組織になる。

「人材を育む力」を“ちょうししんきんの強み”にまで高め、職員一人ひとりが自ら学び、成長し、お互いに助け合いながら、地域のみなさまと共に、豊かで活力あふれる地域社会を創る。

### 重点事項

#### お客さまとの接点を増やす

課題解決サポートに注力するため  
金庫全体で業務の最適化を行いお客さまとの接点を増やします

#### お客さまにより良い提案を行えるようにする

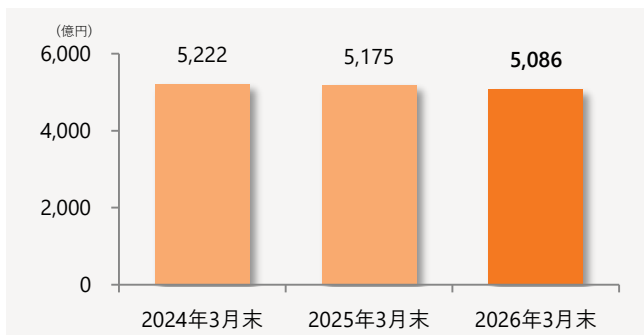
職員の専門性を高め  
多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします

#### 全職員が幸せにいきいきと働けるようにする

職員の成長と幸せの実現のため  
やりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

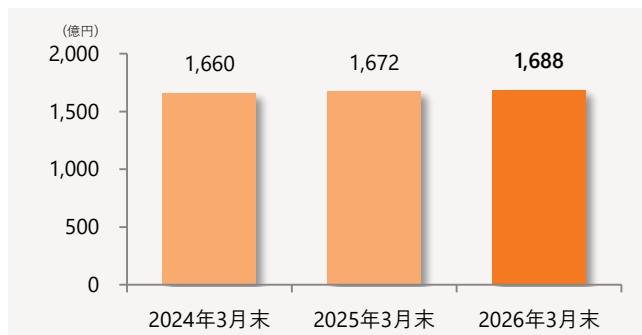
## 預金積金

預金積金は、主に流動性預金の減少により、前期比88億円減少の5,086億円となりました。



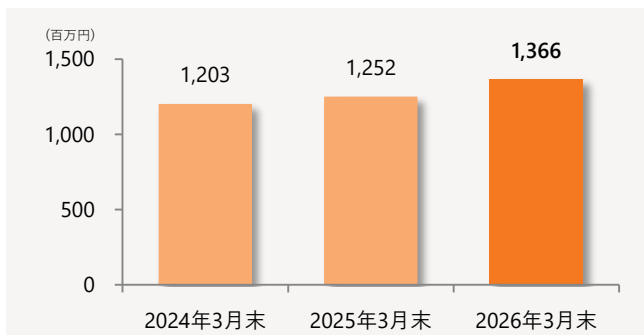
## 貸出金

貸出金は、課題解決に着目したご融資のご提案に加え、各種個人向けローンのご提供、地公体等向け融資の推進などにより、前期比16億円増加の1,688億円となりました。



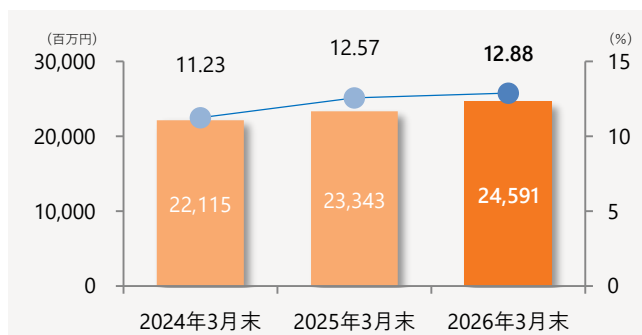
## 当期純利益

当期純利益は、資金運用収益および役員取引等収益の増加などにより、前期比114百万円増加の1,366百万円となりました。



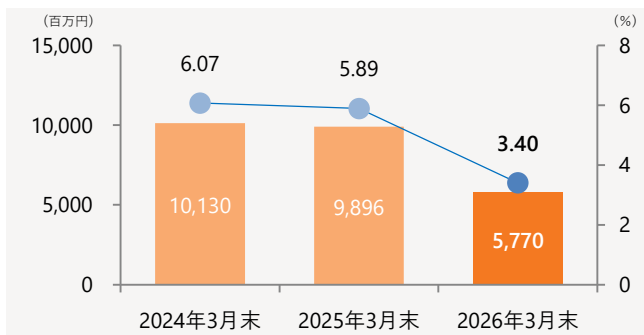
## 自己資本

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。その結果、自己資本額は前期比1,247百万円増加の24,591百万円、自己資本比率は前期比0.31ポイント上昇の12.88%となりました。



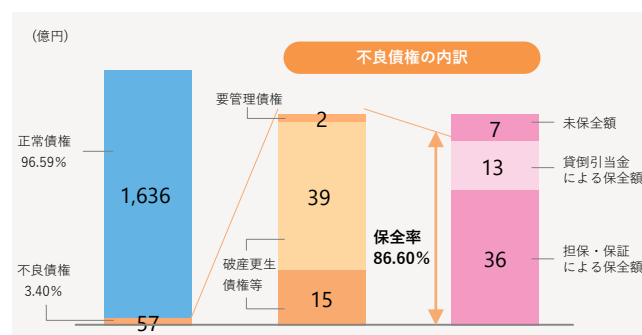
## 不良債権

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでおります。その結果、不良債権額は前期比4,126百万円減少の5,770百万円、不良債権比率は前期比2.49ポイント低下の3.40%となりました。



## 金融再生法開示債権

不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証および貸倒引当金により86.60%がカバーされています。また、保全されていない金額（約7億円）についても、自己資本によりカバーされており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



## 第117期 貸借対照表

2026年3月31日現在  
単位：百万円

科目	金額
<b>(資産の部)</b>	
現金	4,976
預け	162,729
買入金銭債権	2,062
有価証券	197,149
国債	21,683
地方債	38,827
社債	42,858
株式	19
その他の証券	93,761
貸出金	168,888
割引手形	231
手形貸付	14,805
証書貸付	143,180
当座貸越	10,671
その他資産	4,511
未決済為替貸	80
信金中金出資金	2,913
前払費用	8
未収収益	844
その他の資産	664
有形固定資産	4,086
建物	1,566
土地	2,156
リース資産	114
建設仮勘定	15
その他の有形固定資産	235
無形固定資産	114
ソフトウェア	51
その他の無形固定資産	62
繰延税金資産	663
債務保証見返	349
貸倒引当金	△1,699
(うち個別貸倒引当金)	(△1,372)
資産の部合計	543,832

科目	金額
<b>(負債の部)</b>	
預金	508,640
当座預金	6,003
普通預金	274,003
貯蓄預金	1,183
通知預金	477
定期預金	213,100
定期積金	9,765
その他の預金	4,105
借入金	9,308
借入金	9,308
その他負債	1,122
未決済為替借	125
未払費用	505
給付補填備金	6
未払法人税等	14
前受収益	113
払戻未済金	43
職員預り金	23
リース債務	125
その他の負債	164
賞与引当金	149
退職給付引当金	37
役員退職慰労引当金	32
睡眠預金払戻損失引当金	12
偶発損失引当金	109
再評価に係る繰延税金負債	97
債務保証	349
負債の部合計	519,858
<b>(純資産の部)</b>	
出資金	9,828
普通出資金	2,328
優先出資金	3,300
その他の出資金	4,200
資本剰余金	1,033
資本準備金	1,033
利益剰余金	13,672
利益準備金	2,517
その他利益剰余金	11,155
特別積立金	6,600
(優先出資消却積立金)	(6,600)
当期末処分剰余金	4,555
処分未済持分	△0
会員勘定合計	24,534
その他有価証券評価差額金	△803
土地再評価差額金	242
評価・換算差額等合計	△560
純資産の部合計	23,973
負債及び純資産の部合計	543,832

## 第117期 損益計算書

2025年4月1日から  
2026年3月31日まで/単位：千円

科目	金額
<b>経常収益</b>	
資金運用収益	7,673,788
貸出金利息	2,685,387
預け金利息	1,091,228
有価証券利息配当金	3,820,343
その他の受入利息	76,828
役員取引等収益	582,309
受入為替手数料	191,585
その他の役員収益	390,723
その他業務収益	16,924
国債等債券売却益	3,482
その他の業務収益	13,442
その他経常収益	448,623
貸倒引当金戻入益	356,042
償却債権取却益	75,452
株式等売却益	16,892
その他の経常収益	234
経常費用	7,205,145
資金調達費用	1,038,453
預金利息	1,017,406
給付補填備金繰入額	6,736
借入金利息	14,201
その他の支払利息	107
役員取引等費用	358,355
支払為替手数料	54,837
その他の役員費用	303,518
その他業務費用	1,407,052
国債等債券売却損	1,377,241
国債等債券償還損	26,900
その他の業務費用	2,910
経常損失	3,878,846
人件費	2,560,135
物件費	1,223,492
税金	95,218
その他経常費用	522,437
貸出金償却	411,992
株式等売却損	11,165
株式等償却	20,134
その他資産償却	22,061
その他の経常費用	57,083
経常利益	1,516,499
特別損失	1,030
固定資産処分損	1,030
税引前当期純利益	1,515,469
法人税、住民税及び事業税	18,470
法人税等調整額	130,000
法人税等合計	148,470
当期純利益	1,366,998
繰越金(当期首残高)	3,188,980

- 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
- 出資1口あたりの当期純利益金額 28円08銭
- 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」(令和2年3月31日)に基づく顧客との契約から生じる収益の金額は、他の収益と区分表示しておりません。当事業年度における顧客との契約から生じる収益は、582,309千円であります。
- 収益を理解するための基礎となる情報は、貸借対照表の注記において、重要な会計方針とあわせて注記しております。

## 第117期 剰余金処分計算書

2025年4月1日から  
2026年3月31日まで/単位:円

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	4,555,979,148
剰 余 金 処 分 額	279,082,996
利益準備金	137,000,000
普通出資に対する配当金 (年1.0%)	23,282,996
優先出資に対する配当金 (年1.8%)	118,800,000
特別積立金	-
(優先出資消却積立金)	(-)
繰 越 金 ( 当 期 末 残 高 )	4,276,896,152

以上のとおりご報告いたします。

2026年6月18日

### 銚子信用金庫

理 事 長	森 山 博 志	理 事	伊 藤 浩 一 (※1)
常 務 理 事	飯 島 良 春	理 事	大 里 忠 弘 (※1)
常 務 理 事	高 橋 豊	理 事	川 嶋 義 夫 (※1)
理 事	越 川 晴 行	理 事	阿 部 典 義 (※1)
		理 事	木 村 栄 宏 (※1)

以上の各項を調査し、その正確なことを認めます。

監 事	田 向 一 男
監 事	近 藤 典 子 (※2)
監 事	野 口 光 男 (※2)

(※1)の理事は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

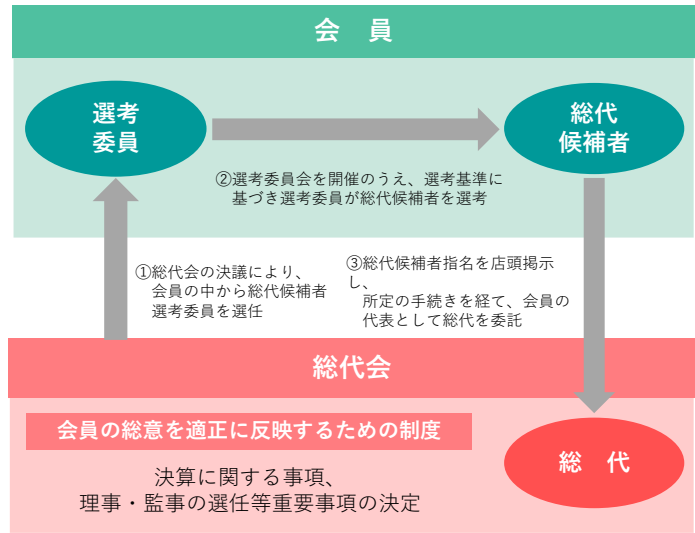
(※2)の監事は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

## 総代会制度

信用金庫は会員一人ひとりの意見を尊重し経営に反映させる協同組織の金融機関です。

当金庫では、会員の意見を適正に反映し充実した審議を確保するため、会員の中から選任された総代により運営される総代会制度を採用しています。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



## 出資に関するお知らせ

### ● 出資とは

出資は株式会社の株式に相当するものですが、性質は全く異なります。株式のような流動性はなく、自由に売買できるものではありません。また、預金とは違い、すぐに払い戻しする事もできず、預金保険制度の対象ではありません。

### ● 配当金について

出資に対する配当(率)は、事業年度内の業績や収益状況等により変動し、事業年度終了後に開催する総代会の決議により決定されます。当年度の配当金の詳細ならびにお受取方法につきましては、「出資金残高通知書兼出資配当金振込のご案内(兼領収書)」をご確認ください。

### ● 出資の譲渡(脱退)について

会員は、いつでも出資金を譲渡して脱退することができます。ただし、ご融資をご利用いただいている間は原則として脱退することができません。出資金を譲渡(換金)する場合は、原則として他の加入者(譲受人)へ譲渡する手続きを行い換金します。譲受人がない場合は当金庫が譲り受けることとなり、換金には、お申込みから最長1年6か月かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ● 当金庫の業務地区外に転居なされた方へ

会員たる資格を満たさなくなってしまうため、法定脱退の手続きをとっていただくこととなります。詳しい手続きについては、最寄りの当金庫本支店窓口までお問合せください。

# ちょうしんきんSDGs宣言

ちょうしんきんは、経営理念に掲げる「地域の最良のパートナーとして、常に地域とともに歩む」を活動の根源に据え、地域の課題は当金庫の課題であるとの認識のもと、その課題解決に積極的に取り組み、地域の持続的な発展に貢献してまいります。

## SDGs重点事項に関する主な取組み状況

### ちょうしんきん若志の会

ちょうしんきん若志の会では、会員のみなさまの学びと情報交換を目的とした経営セミナーおよび交流会をはじめ、様々な経営支援サービスを提供しております。



地域経済の  
持続的な発展

### 認知症サポーターの養成

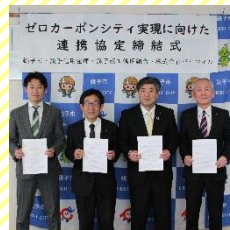
新入職員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。地域のみなさまが安心して暮らしやすいまちづくりに努めております。



豊かな  
地域社会の実現

### 脱炭素支援

株式会社バイウィル、銚子市、銚子商工信用組合と「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」を締結しました。今後も地域と連携し、事業者の脱炭素経営を支援してまいります。



地域環境の  
保全

### SDGs推進チーム

入庫2年目の職員で構成された“SDGs推進チーム”が中心となり、「こどもの未来古本募金」、「ちょうしんきんフードドライブ」などを実施しました。



ガバナンスの  
強化

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された2030年までの国際目標で、「誰一人取り残さない」を基本理念とし、持続可能で多様性と包摂性（社会のすべての人に配慮を払うこと）のある社会の実現を目指すものです。「すべての人に健康と福祉を」や「住み続けられるまちづくりを」など持続可能な世界を実現するための17のゴールと、それらのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。



2025年	
4月	2025年度入庫式（新入職員9名）
	第35回「若手社員研修会」開催
6月	定期預金キャンペーン実施（6～7月）
	第116期「通常総代会」開催
7月	「こどものみらい古本募金」に参加（7～8月）
	「ちょうししんきん若志の会 経営者セミナー・交流会」開催
	第35回「若手社員研修会フォローアップ研修」開催
9月	銚子市内の全小学校（11校）にて「金融教育出前授業」実施（9～10月）
10月	「ウレシイ暮らしのセミナー（終活と公正証書）」開催 （第16回:銚子会場）
	「キッズフリマ」および「わくわく！おかね体験会」開催
	「2025 しんきん食の商談会 in CHIBA」開催
11月	「ウレシイ暮らしのセミナー（脳活ライフスタイル向上セミナー）」開催 （第17回:旭会場、第18回:茨城会場）
	定期預金キャンペーン実施（11月～翌年1月）
2026年	
1月	銚子特別支援学校にて「金融教育出前授業」実施
2月	「ちょうししんきんフードドライブ」実施
	株式会社バイウィル、銚子市、銚子商工信用組合と「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」締結
	「ちょうししんきん若志の会 経営者セミナー・交流会」開催